

9/13 **のぼり新聞お披露目パレード**

十和田市秋まつりで『第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1 グランプリ in 十和田』のPRを兼ねて、市内の小学校から集まった児童64人と実行委員会事務局員、十和田バラ焼きゼミナールらが、62本の『のぼり新聞』を持ってパレード行いました。

この『のぼり新聞』は、市内の小学校が、B-1 グランプリ in 十和田へ出展する62団体の地域やまちおこし活動について学習し、壁新聞をイメージして作成したものです。

この日はあいにくの雨でしたが、ぬれないようにビニールをかぶせた、自慢の『のぼり新聞』を手に、児童らは笑顔で三本木大通り(旧国道4号)を歩きました。

参加した高橋駿輔さんと立崎龍之介くん(共に北園小6年)は、「のぼり新聞を作るために、その団体についていろいろ調べて勉強しました。当日は、自分が作った旗の団体の料理を食べに行きます」と話しました。

雨の中、元気いっぱい歩いた児童らには、沿道の観客から大きな拍手と声援が送られました。

この『のぼり新聞』は、市民交流プラザ(トワレ)で展示された上で、各団体に届けられます。



♪『B-1 グランプリのテーマ』をBGMに三本木大通りでパレードを行いました



参加した児童は、雨ニモマケズ、最後まで元気いっぱいに歩きました



漆館楓太くん(四和小・6年)は「毎週、給食で食べたいくらいおいしいです」と話しました。

9/6 **ボランティアスタッフ団結式**

B-1 グランプリ in 十和田のボランティアスタッフ約250人が十和田商工会館で、出展団体や来場者の皆さんを、最高のおもてなしで迎えようと団結式を行いました。

団結式に参加した川上紗也加さん(四和中・3年)は、「まちおこしの役に立ちたい。楽しみです」と話しました。

今大会には、市民や企業、団体、市内の中学・高校などから延べ約5,500人がボランティアスタッフとして参加し、心からのおもてなしで来場者を迎えます。

9/9 **十和田バラ焼き給食の日**

市内全ての小・中学校とほとんどの保育園・幼稚園で、B-1 グランプリ in 十和田への機運を高め、地産地消と農業への関心を深めようと、給食のメニューに『十和田バラ焼き』を加える『十和田バラ焼き給食の日』が行われました。四和小学校(藤田誠志校長)では、十和田バラ焼きゼミナールの畑中宏之舌校長が特別授業を行い、その後、6学年11人と一緒に給食を食べ、『十和田ガーリックポーク』などを使った『十和田バラ焼き』を楽しみました。



「一生に一度しかないこの大会で、十和田市の魅力を最大限に発信します」と宣誓した下山穂乃華さん(十和田西高校・2年)

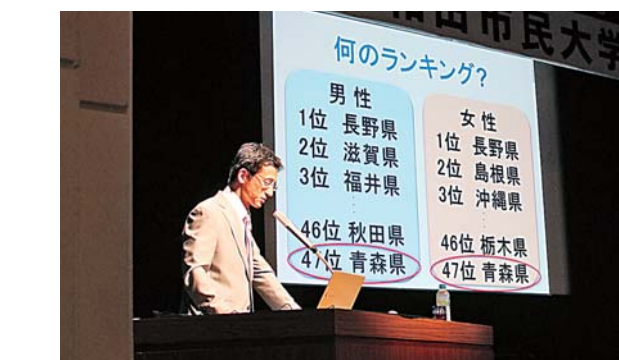
9/3 **十和田愛にあふれた缶アートお披露目**

十和田商工会議所駐車場で十和田西高等学校が約7,400個のアルミ缶を使い、7日間かけて制作した『缶アート』のお披露目が行われました。縦6m・横9mのこの大きな作品は、大会当日まで展示されます。

その後、B-1 グランプリ in 十和田実行委員会と十和田バラ焼きゼミナールが、十和田市中央商店街の店舗を回り、店舗前にポスターの掲示をお願いするキャンペーンを行いました。



缶アートを前に、手をハート型にして『とわだに愛にいこう』ポーズ



何のランキングでしょうか? 答えは『平均寿命』です

8/26 **市民大学 & さわやか健康講座**

市民文化センターで、市民大学講座(さわやか健康講座共催)が行われ、弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座の石橋恭之教授が『メタボとロコモ~健康で長生きするために~』をテーマに講演しました。

石橋教授は、「生活習慣病にならないように、バランスの良い食事を取り、適度な運動で筋力の低下を抑え、運動器の障害発生の予防をしましょう」と呼び掛けました。

Pick Up **市内初! 国の登録有形文化財(建造物)に登録 カトリック十和田教会が文化財に**

8月4日に『カトリック十和田教会』が国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

昭和7(1932)年に2代目の教会として建設され、昭和39(1964)年には、現在地(稲生町12番24号)に移築されました。

同教会は、日本に16年滞在し、多くの学校や宗教施設などの建築設計を行ったスイス人のマックス・ヒンデルが設計した木造教会で、正面の切妻屋根に鐘楼があるのが特徴です。内部は、地元の木材を使用した円柱があり、その上には装飾が施されています。これらは、中世ヨーロッパの建築様式であるロマネスク様式の特徴を色濃く表しています。

ヒンデルの手がけた作品は、東京の上智大学や北海道のトラピスチヌ修道院(函館市)など数棟が現存しています。

お声掛けしていただくと、無料で見学ができますので、散策の際に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



【外観】白い壁に、緑の屋根が映える外観です。まちのランドマークとなっています。



【内部】白を基調とし、地元の木材を使用した落ち着いたたたずまいをみせています。